大阪府立大学女性学研究センター主催・人間社会学部「文学とジェンダー」共同研究プロジェクト共催

２０１３年度第３回女性学講演会

芸術、文学とジェンダー

日時：２０１３年１２月１４日（土）
午後２時～午後５時
場所：大阪府立大学 I-site なんば２階

19 世紀フランスのロマン主義作家テオフィル・ゴーチエは、詩や小説、戯曲、バレエなど様々なジャンルの作品を手がけ、新聞雑誌に美術評や演劇評を掲載し、文芸評論家としても活躍しました。本講演ではゴーチエと造形芸術および舞台芸術との関わりを絵画・彫像・映像を参照しながら女性像を中心に探ってみたいと思います。

２時～３時

テオフィル・ゴーチエと造形芸術
―ゴーチエの「石の夢」―
村田京子（本学教授）

ゴーチエの最大の望みは、美の理想の夢を大理石で実現することでした。彼の小説『カンダウレス王』において「石の夢」がどのように繰り広げられているのか、見ていきます。

３時１５分～４時１５分

テオフィル・ゴーチエと舞台芸術
―ジゼルはどこに？―
澤田肇（上智大学教授）

功利主義的な近代社会において、詩と美の信奉者ゴーチエの魂に救いをもたらしたのは、カルロッタ・グリジというエトワールであり、彼女のために制作したロマンティック・バレエ『ジゼル』と幻想小説『スピリット』です。人生と創造の軌跡を DVD と小説や私信の抜粋を手がかりに見ていきましょう。

４時３０分～５時　講演者との質疑応答

対象：どなたでも
参加費：５００円（本学学生・院生・教職員は無料）
申込方法　：氏名（ふりがな）、住所、電話番号を記して、ＥメールまたはＦＡＸでお申し込みください。
＊お申し込みの際の個人情報は、本講座の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。
申込先　：大阪府立大学女性学研究センター
Ｅメール：joseigaku@gmail.com　FAX：072-254-9947
当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。
問い合わせ先：大阪府立大学女性学研究センター　TEL ： 072-254-9948（月～金：14:00～17:00）
会場：I-site なんば（交通アクセスは http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/map/ をご参照ください。）